

ねりまユニオン

編集発行：練馬ユニオン編集委員会

連絡先：練馬区 練馬1-16-16-101

サポートねりま内

TEL 03-3994-2088

E-mail：support@nerimaunion.orgHP：www.nerimaunion.or/

練馬地域ユニオン第26回定期大会開催

2021年10月23日（土）午後6時15分から練馬区立勤労福祉会館2階大会議室に於いて練馬地域ユニオン第26回定期大会が開催されました。

今年度もコロナ禍の状況を考慮し来賓のご招待は控えさせていただき、メッセージのお願いとなりました。全国一般東京労組をはじめとして地域の連帯する団体からメッセージが多数寄せられました。

大会は小島書記次長の司会で開会の挨拶と議長選出が行われ高井執行委員を議長に選出し重野執行委員を大会運営委員に指名し大会議事に入りました。

議事開始に当たり奥山委員長が総選挙で野党統一候補の支援、コロナ禍で労働相談より生活相談が増えている。大会で一年間の総括をして反貧困、反失業の闘いと最低賃金宣伝活動を広めようと挨拶されました。

来賓として練馬全労協の真下事務局長からは、コロナ禍で活動の困難がありましたが、JAL支援の集会を開催できたことは良かった、練馬全労協と練馬地域ユニオンは共に連帯して頑張っていこうと挨拶されました。池袋労働相談情報センターの相談調査担当の石川さんが大会の取材に見えられましたので、紹介しご挨拶を頂きました。コロナ禍の中の労働相談状況とこのような対面での話し合いは大切ですねと話されました。メッセージ紹介については団体名の紹介になりました。

その後例年通り大会資格審査報告、大会成立確認、一年の経過報告、次年度方針、決



算・予算、会計監査報告、共済報告、スト権投票、第26期運営体制の提案と議案に沿って滞りなく進みました。

組合員の闘いの報告と討論ではトレーナーユニオンより、大きな事故もなく、区民の健康維持に貢献できている。指定管理者選定時期には気を揉むことや区がしっかりと区民の健康管理を取り組み、NPOと協同して安定したサービスと職場にすることが大切ではないかと報告されました。

稲本組合員からは5年間に及ぶシルバーハートシフト削減の闘いが8月10日に会社が控訴取下げで終結になったこととご支援に対してのお礼の報告がありました。

山本組合員からは、非正規、反貧困、反失業の具体的な闘いで共同闘争を取り組み、労働戦線統一を目指すべきではないかと話されました。

報告討論後に議案採決も全員の拍手で確認され、議事は終わりました。

最後に奥山委員長の団結頑張ろうで大会は成功裏に終わりました。

都労委への救済申し立て、 国交省への団交申し入れで争議解決目指す

JAL 被解雇者労働組合の報告会

11年目に入ったJAL不当解雇撤回闘争の打開を目指し新たに結成された「JAL被解雇者労働組合（JHU）」（山口宏弥委員長）の報告会が、練馬全労協の主催で10月5日に練馬区立勤労福祉会館で開かれました。

JHUは、60歳を過ぎて機長組合の組合員資格を失い、会社との団体交渉の機会もなくなったJAL争議団の3人が、4月4日に結成しました。会社に対して組合結成を通知し、争議解決に向けた団交の申し入れを行ったものの会社側が応じなかったため、5月12日に都労委に不当労働行為（団交拒否）救済申し立てを行いました。6月9日には超党派の国会議員20名が連名で「日本航空争議の早期解決に向けての要望」を都労委に提出しました。

JHUはさらに、国交省がJALの経営再建に関与し人員削減案を認めた責任があるとして、9月15日には国交省に団交の申し入れを行い、拒否すれば都労委に救済申し立てをする構えで闘っています。

報告会では初めに真下・練馬全労協事務局長が「JAL争議は今年の年末で丸11年が経とうとしています。今日、山口さんの話を聞いて、これからも一層支援していこうという気持ちを確認したい。練馬区労協、練馬労連さんと共に練馬の地域で運動を進めてまいりたい。共に頑張りましょう」と主催者挨拶をしました。続いて小泉・東京北部労協議長が来賓として「JALの不当解雇はコロナのせいでもないし、当時経営が厳しくなったから指名解雇したということだが、JALはオリン

ピックのスポンサー企業として名乗りを上げ、今だって会社は存在し経営は成り立っている。理不尽な不当解雇を絶対許さないという立場で私たちも取り組みたいと思っています」と挨拶しました。

山口委員長は、不当解雇撤回闘争とJHU結成の経緯、現在の闘いの状況を裏話も交えながら報告しました。不当解雇の前のスト権投票に管財人が介入したことが、都労委で不当労働行為と認められ救済命令が出たが、会社は中労委を飛び越えて裁判に持っていき最高裁で不当労働行為が確定した経緯があり、会社は労働委員会で争うことを嫌がっている。20人の国会議員の早期解決の要望を、労働委員会も非常に意識している。国交省を相手取って都労委に申し立てることを考えていて、そうなれば国交省も迷惑だから「JAL、何とかしろ」ということになるかと報告。「乗員の組合と客室乗務員の組合が社内でやっていることと、私たちの外での運動を車の両輪として頑張ってやっていきたい。日本航空は崩れる時はガタガタと崩れる。そこまで追い込んでいく状況を早くつくっていききたい。闘いは必ず勝利できると確信している。皆で統一して闘える状況を私たちがつくるように精一杯頑張っていきたい」と決意を述べ、支援を呼び掛けました。

質疑応答の後、客室乗務員の争議団の参加者の紹介があり、会場カンパが山口委員長に手渡され、北村・事務局次長の「団結頑張ろう！」で締めくくりました。



JAL被解雇者労働組合

国交省前 宣伝行動

運動のすすめ

疲労と付き合おう



皆さんは日常的に疲れを感じた時、どうやって解消していますか。疲労は目に見えないもので、過度に蓄積させて思わぬ体調不良に陥らないよう早めの対処が必要になります。今回は疲労のメカニズムや解消法について取り上げていきます。

疲労とは「これ以上の運動や作業を続けると体に害が及ぶ」という体からの警報サインと考えられています。疲労の原因の一つとして「アデノシン」という物質が挙げられ、活動している限りこのアデノシンが増え続け、一定量に達すると強い眠気を感じます。

疲れたらコーヒーやエナジードリンクを飲んで頑張る方も多いと思いますが、カフェインがアデノシンの受容体と結びつくと、眠くなるのを一時的にブロックすることができます。しかし、これは目が冴えて元気になった感覚があるに過ぎず、根本的な解決とは言えません。

一般的な疲労の解消法としては睡眠や入浴があり、睡眠時には、「若返りホルモン」とも呼ばれる成長ホルモンの分泌が高まり、傷ついた組織の修復や細胞の活性化にも大きく影響します。入浴は、血行促進によるメリットに加えて、精神的にもリラクセスすることができ効果的ですが、その他にも「積極的休養（アクティブ・レスト）」と呼ばれる方法も支持されています。

これはもともとアスリートの間で普及、実践されていたもので、ただ安静にするよりもむしろストレッチやウォーキングなどの適度な運動を積極的に取り入れると、全身の血液循環を良くして疲労回復を促すことができます。また、楽しく体を動かし心身共にリフレッシュすれば、その後の快眠にも繋がります。

日頃から疲労を強く感じている方は、攻めの姿勢で疲労解消に働きかけることをお勧めします。

特定非営利活動法人 ヘルスプランニング

練馬版



おとしがき



『すなふきん』

作：練馬ユニオン 齊藤明男

川柳自選拾遺集 ⑩

- ◇ 琉球弧盾にするなど盾になる
- ◇ 水際をジャブジャブ漏れる地位協定
- ◇ ウチナーに何度民意を試させる
- ◇ 再稼働安全神話に縋^{すが}るだけ
- ◇ 喜寿過ぎてこの道歩む九条と
- ◇ マスク真似クーポン宙に浮いたまま
- ◇ 聞く耳を立ててはいるが流すだけ
- ◇ 「ふざけんな！」金と力で塞ぐのか
- ◇ 黒塗りを剥がせば真理白日に
- ◇ この笑顔こども食堂こえ弾む



《シルバークラウド》

○ 大阿久芳胤・作 ◇ 齊藤明男・作

【写真】宮古島ミサイル弾薬庫配備反対 オール郵政沖繩連帯ツアー（宮古島）

- ◇ 改ざんを闇に閉じ込め税金で卑劣幕引き真実隠す
- ◇ 簡単な当たり前こそ難しい謙虚の徳に知恵の裏張
- ◇ 武器持たぬ対話で拓く地平線海の深さも權を並べて
- ◇ 改憲の足音響く年の瀬に九条護る声の確かさ

「わかちあい練馬」 in 平成つつじ公園

生活相談・食品配付行われる

2021年11月3日（水）練馬駅北口・平成つつじ公園で「わかちあい練馬」による食品無料配布が5月23日に続いて行われました。開始時には長い列ができ、予定していた

200個をオーバーし、急ぎ無料食品が追加されました。各種の相談会、野外ミニコンサートも行われなごやかに開催されました。



食品配付テント裏側



長い列の最後尾